

# みんなの環境

第13号 2007年12月23日

編集/発行 あつぎ環境市民の会

[http://www.geocities.jp/atsugi\\_kankyo/](http://www.geocities.jp/atsugi_kankyo/)

2008

# みんなの環境展

～美しいふるさとをこどもたちに～

次世代に美しい地球環境を残すことは今を生きる大人の責任であると仲間が集まりました。第4回は厚木市市民ギャラリーでギャラリートークを交え、地球温暖化防止についてみんなで考えます。



2008年1/8(火)～1/14(月)10:00-18:30(最終日14時)

厚木市市民ギャラリー(厚木サティ7F)

## 1月8日から市民ギャラリーで環境展

あつぎ環境市民の会が主催する「みんなの環境展」が1月8日～14日まで厚木市市民ギャラリーで開かれる。今回は第4回目で、同会の日頃の活動が写真やパネルで展示されるほか、週末には環境に関するギャラリートークも開かれ、多くの市民を集める。入場無料。

《展 示》★地球温暖化防止啓発パネル展 ★あつぎ環境市民の会活動紹介

★街で見つけたエコ写真

●展示解説は会期中の13:00～

《環境活動紹介コーナー》市内・近隣の環境保全活動団体紹介

《ギャラリートーク》◎かしこいエコ生活のすすめ ……………12日(土)13:00～14:00

講師／藤田 実氏 (あつぎ環境市民の会)

◎身近かにもある地球温暖化の影響 ……13日(日)13:00～14:00

講師／青砥航次氏 (あつぎ環境市民の会)

主催★あつぎ環境市民の会 お問い合わせ：Tel046-224-5010(狩野)

後援★神奈川県・厚木市・厚木市教育委員会・NPO 法人神奈川県自然保護協会

### ～私たちの活動 ①～ 「ソーラークッカーを作ろう！」

#### 毛利台小学校で環境学習を指導

(神奈川県・平成19年度新エネルギー・省エネルギー学校派遣事業)

10月22日(月)9時～12時に、厚木市立毛利台小学校で環境学習の指導を行った。生徒は4



年生5クラス165名で、会員15名が参加した。学校が私たちの掲げるテーマを選んだのは、社会科の“住みよいくらしをつくる”に関連しているからとしている。実施概要は①厚手の型紙を切りぬいて、パラボラ状の太陽熱集熱器(ソーラークッカー)を組み立てる。②黒塗りの缶に生卵を入れてソーラークッカーにセットし、約1時間太陽に向けて静置する。③この間に、生活の場で見られる光景を使った画像を題材にして地球温暖化の話をする。

1時間後に缶から卵を取りだして殻を割ってみると半熟のものや生卵のままのものがあつた。生徒の感想はおもしろかったというのが多かつた。これはソーラークッカーをつくるという「モノづくり」と、その成果を調べる(ゆで卵を調理する)ということがセットになっているからであると考えられる。

生徒の感想は、①工作と理科がいっしょになっておもしろかつた。②私たちが地球をこわしていることがよく分かりました。③地球おんだんかのことをかんがえるようになりました。④電気とかいっぱい使つてはいけないとわかりました。

県による学校へのアンケートで◇学校派遣授業 ◇授業の内容 ◇講師の対応 ◇実施前の調整・打ち合わせの各項目で最高の評価をいただいた。詳細は下記Webを参照。(藤田 実)

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kankyokeikaku/energy/dispatch/sight.html#cooker>

## ～私たちの活動 ②～ 勝呂氏(水産技術センター)が講演

### 野生動植物保全フォーラム



あつぎ環境市民の会も運営委員として参加している第7回野生動植物保全フォーラムが11月11日、厚木市文化会館で開催されました。冒頭に小林常良・厚木市長や、県環境審議会委員でもある堀江則之・県議の来賓挨拶がありました。堀江県議にも討論に参加して頂きました。

全体の参加者は約80名。神奈川県水産技術センター・内水面試験場主任研究員勝呂尚之氏による「身近な自然の保全・再生活動」の講演の後、県内各地からの5団体による実践発表がありました。

また、ポスターだけの参加も多く、ポスターセッションではそれぞれのポスターの前で熱心な情報交換も行われました。

勝呂氏の講演は、ミヤコタナゴのような天然記念物種ではオープンにできない難しさがあること。ホトケドジョウの保護がわき水を中心にした生態系全体の保護につながる利点があること。メダカの生息環境は幅が広いことと、よく知られているので分かりやすく行政、市民協同がしやすいこと。丹沢のヤマメで本来の遺伝子を持ったものが丹沢総合調査で見つかり、復元の可能性があることなど。例に挙げた種それぞれの保護、地域の戻す活動に特質があることを実践に基づいた具体的な話で参加者に訴えるものが多く、勉強になりました。共通の課題は、市民参加の大切さと行政といかに協調しながら上手にやっていくかと言うことで改めて浮き彫りになった集まりでした。

(青砥航次)

#### 環境にやさしい暮らしを

### あつぎ環境フェアに出展参加

厚木市中央公園で11月4日、厚木市主催の第1回環境フェアが行われ、私たちは“地球を守る新エネルギーエリア”に参加した。ソーラークッキングの実践と地球温暖化防止のパネル、環境家計簿などを展示して、環境にやさしい暮らしの提言をしました。

当日はお天気に恵まれ、電気やガスを使わないで太陽熱でクッキングしたミニクッキー、うずらのゆで卵、ハーブティーなどを多くの皆さんに試食、試飲していただきました。きっと太陽から地球に燦々と降り注いでいる熱エネルギーに気づいていただけたのではないかと思います。会場では3R(Reduce, Reuse, Recycle)活動を実践するエコライフ、マナーアップ、厚木の自然を見つめるコーナーがあり全体で入場者数が1万5千人あったそうです。環境学習で出会った子どもたちと偶然の再会もあり楽しい1日でした。



(狩野光子)

この機関紙にみなさんの環境への思いや情報を載せましょう。原稿は随時受け付けています

# 「環境対応型太陽エネルギー利用シンポジウム2008 in厚木」

環境エネルギー問題は人類はじめ種々の生物の存続に係わる重大な問題であり、早急に解決しなければならない課題となっております。太陽エネルギーは、石油代替エネルギーとして最も重要なエネルギーの一つであり、地球温暖化防止対策のためにその利用促進は急務であります。東京都では再生可能エネルギー利用において革新的な取り組みがすでに始まっており、やがて地方自治体、産業、個人にもその影響が波及してくるものと考えられます。



本シンポジウムにおける講演は、太陽エネルギー利用システムの研究開発、環境エネルギー問題、太陽エネルギー利用の現状、事例、および普及促進のための政策等について行われ、総合討論においては参加者の皆様が共に環境エネルギー問題について語り合える時間を持ちたいと考えております。また、製品、試作品、ポスター展示の併設も企画いたしております。多数の皆様のご参加をお待ちいたしております。

期 日： 平成 20 年 1 月 19 日（土）  
場 所： 厚木市文化会館 小ホール（小田急本厚木駅より徒歩約 13 分）  
日 時： 第 1 部： 9:20～10:20 神奈川工科大学ハイテクプログラム研究計画  
第 2 部： 10:30～12:20 環境エネルギー対策  
第 3 部： 13:15～15:50 太陽エネルギー利用の事例および普及促進  
展 示： 9:20～15:50 ソーラーハウスの模型、太陽電池、  
太陽電池・燃料電池ハイブリッド電動車椅子等、ソーラーカー

主 催： 神奈川工科大学（<http://www.kait.jp>）  
後 援： 厚木市・日本太陽エネルギー学会  
協 賛： あつぎ環境市民の会

定 員： 250 名（申込み先着順、お問い合わせ：046-291-3302 石崎）  
参加費： 無料

みんなの環境 第 13 号 2007 年 12 月 23 日発行

編集・発行 あつぎ環境市民の会 代表 狩野光子  
電話/FAX 046-224-5010 e-mail: [mitsuko-karino@ayu.ne.jp](mailto:mitsuko-karino@ayu.ne.jp)  
製 作 長岡 恂 e-mail: [jun.nagaoka@nifty.com](mailto:jun.nagaoka@nifty.com)  
事務局 〒243-0817 厚木市王子 2-14-3 山中延明 方  
電話/FAX 046-224-9698 e-mail: [ANA40480@nifty.com](mailto:ANA40480@nifty.com)  
郵便振替口座 00200-7-132779（年会費 2000 円） (C)あつぎ環境市民の会 2007